

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	36週	35週	第36週		第35週		第36週		第35週		第36週		第35週		第36週		第34週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	10	7	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	55	1	0	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	3	0
感染性胃腸炎	52	79	11	4	17	4	11	2	17	4	0	1	0	0	0	1	0	0
水痘	9	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
手足口病	6	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
伝染性紅斑	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
突発性発疹	40	47	8	0	4	0	5	0	3	0	0	0	0	0	3	0	1	0
ヘルパンギーナ	11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	3	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	5	1	4	0	1	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	6	6	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

県中地域の状況

流行中
小流行中

現在、流行している感染症はありません。

現在、小流行している感染症はありません。

レジオネラ症について

福島県内で断続的にレジオネラ症の報告があがっています。県中管内でも1月～現在までに6件の報告がありました。レジオネラ症を予防するために、基本的な情報と重要なポイントをお知らせします。

レジオネラ症とは・・・

- レジオネラ症はレジオネラ属菌の感染によって起こる感染症で、肺炎を中心とするレジオネラ肺炎と、肺炎にならない自然治癒型のポンティアック熱の2つの病型があります。特に問題となるのがレジオネラ肺炎で、腎不全や多臓器不全を起こして死亡する場合があります。
- レジオネラ肺炎は、2～10日(平均4～5日)の潜伏期を経て発病し、悪寒、高熱、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛などが起こり、呼吸器症状として痰の少ない咳、少量の粘性痰、胸痛・呼吸困難などが現れ、症状は日を追って重くなっていきます。腹痛、水様性下痢、意識障害、歩行障害を伴う場合があります。

予防について

レジオネラ症は、レジオネラ属菌に汚染された目に見えないほど細かい水滴(エアロゾル)を吸い込むことで感染します。人から人への感染はありません。

風呂

- ・お湯を循環ろ過して長時間使用する、いわゆる24時間風呂の場合は、レジオネラ属菌が生息している可能性があります。
- ・お湯は定期的に取り換え、浴槽の清掃を行うなど清潔に保ちましょう。
- ・浴槽に入る前には、体の汚れを落としてから入るようにしましょう。

加湿器

- ・水はこまめに毎日取り替え、使用する水も水道水など衛生的な水を使用しましょう。
- ・定期的にノズルの清掃やタンクの洗浄を行い、加湿器を使用しない期間は水を抜いてきれいにおきましょう。

この情報に関するお問い合わせ先：県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム

T E L : 0248-75-7818 E-mail : kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp